

アキノ隊員が語る

生きものそして沖縄

希少な生きものの宝庫、やんばるの森・・・高江。
群青色の大浦湾、サンゴ礁とジュゴンの海・・・辺野古。
豊かないのちのつながりが、今、基地建設によって脅かされています。
生きものの目線で現場に立ち続けるアキノ隊員に、豊富な映像と軽快なトークで、現状を伝えて頂きます。



2月11日(日) pm2:00~4:30

<http://akinotaiinnorinshitaiken.ti-da.net/>

岐阜市美江寺町2丁目6番地. TEL 058-262-8111

アキノ隊員 本名：宮城秋乃

岐阜市民会館 会議室 80

沖縄県浜比嘉島出身。沖縄で森林性のチョウの生態を調査。主に沖縄県指定天然記念物のフタオチョウと準絶滅危惧種リュウキュウウラボシジミ、そしてミヤコホソコバネオオハナノミを研究。2011年秋より東村高江・国頭村安波の米軍ヘリパッド周辺の生物分布調査を始め、2014年よりヘリパッド配備や米軍機の飛行が野性動物に与える影響を調査。

入場無料 (資料代500円)

日本鱗翅学会・日本蝶類学会会員。

主催/「アキノ隊員が語る生きものそして沖縄」実行委員会

(連絡先) 090-1284-1298 長良川市民学習会 武藤